

実践キャリア・アップ戦略
「食の6次産業化プロデューサー」に関する
検討について 別添資料

平成24年3月

実践キャリア・アップ戦略 専門タスク・フォース
食の6次産業化プロデューサーワーキング・グループ 起草小委員会

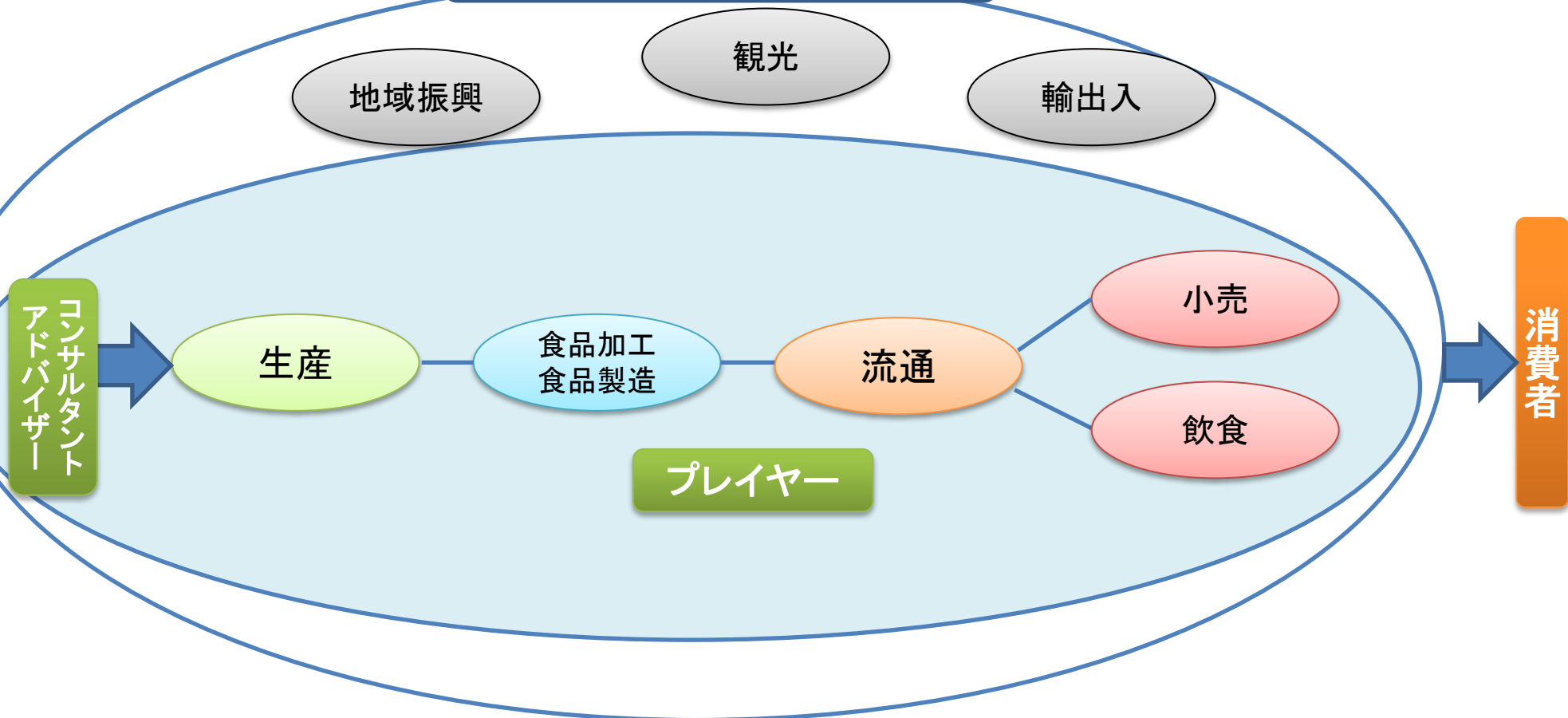
食の6次産業化プロデューサーの人材イメージ

<対象とするビジネスの範囲>

○「食」に関する以下の取組(バイオマスなど食以外に関する取組を除く。)

- ・ 農林漁業者による、**農林水産物の生産・加工・流通・販売**
- ・ 製造、流通・小売・飲食業者等による、**農林漁業者との連携・農林水産業への参入**
- ・ これらの取組に対する専門的な**指導、コーディネート、マッチング**等

食の6次産業化プロデューサー



食の6次産業化プロデューサーの育成のねらい

日本の「食」が持つポテンシャル

- 日本食という文化（ユネスコ世界無形遺産申請へ）
- 世界一と称される美味しさ
- 徹底した安全と衛生管理
- 健康志向

ギャップとしての「食」産業の規模縮小

↓
解決策としての6次産業化推進による

- 付加価値向上
- 生産性向上

を強固な「経営力」のもとに進める

↓
「食の6次産業化プロデューサー」の定義・認証／育成／就業促進

「食」産業の成長産業化

→グローバルマーケットへの展開(※)
→観光振興、地域振興への貢献

震災被災地域での先行的取組み→全国へ

<ul style="list-style-type: none">●農漁業者の競争力強化と所得向上●食品製造業の原材料安定確保●小売外食産業の高付加価値化、差別化	<ul style="list-style-type: none">●雇用創出 <p>1次効果 = 食の6次産業化プロデューサーの雇用機会 2次効果 = 6次産業化が進み、食産業の経済規模が拡大したことによる派生的雇用機会 (→規模推計へ)</p>
--	--

※ 当面は、国内の事業者による国内でのビジネス展開を想定した人材育成を進めるが、今後の食品産業の動向等を見つつ、海外での事業展開に必要なスキルの育成も将来的な課題とする。